



©Manbo Key

日台国際共同プロジェクト
Notes Exchange vol.3

舞台『珈琲時光』

金沢公演

2019年
2月16日(土)14:00/19:00開演
2月17日(日)14:00開演

日本と台湾がつながる ささやかにひとを慈しむ時間

小津安二郎生誕100年を記念して、2003年に日本で製作された映画『珈琲時光』。台湾映画界の巨匠、侯孝賢(ホウ・シャオシェン)監督が小津へと捧げた映画のオマージュが、同名の、しかし全く新しい舞台『珈琲時光』として生まれ変わりました。

イベント名	三重県文化会館×金沢21世紀美術館 第七劇場×Shakespeare's Wild Sisters Group 日台国際共同プロジェクト Notes Exchange vol.3 舞台『珈琲時光』金沢公演
日時	2019年2月16日(土)14:00/19:00開演 2月17日(日)14:00開演
会場	金沢21世紀美術館 シアター21
言語	日本語・中国語上演、日中英字幕あり
上演時間	約100分
料金	一般:3,000円(当日3,500円)、高校生以下:500円(入場時要学生証提示) 友の会会員:2,700円 ※全席自由
チケット取扱い ※発売中	金沢21世紀美術館ミュージアムショップ (TEL 076-236-6072) ※窓口販売のみ(火~日 10:00-18:30、金・土 10:00-20:30) ローソンチケット(Lコード 52512) TEL 0570-084-005 チケットぴあ(Pコード 490-425) TEL 0570-02-9999
主催	金沢21世紀美術館[(公財)金沢芸術創造財団]
助成	文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)、独立行政法人日本芸術文化振興会
協力	石川県台湾華僑総会
協賛	旅音/crasco TABI-NE
後援	北國新聞社、北陸放送、石川テレビ放送、テレビ金沢、北陸朝日放送、エフエム石川
お問合せ	金沢21世紀美術館 交流課 TEL 076-220-2811(10:00~18:00 ※月曜を除く)

※本舞台は、映画『珈琲時光』にオマージュを捧げた作品ですが、映画の物語、登場人物とは関連ありません。

本資料に関するお問合せ 金沢21世紀美術館 広報担当:石川(広報室)、事業担当:川守、吉備(交流課)
〒920-8509 金沢市広坂1-2-1
TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2802
http://www.kanazawa21.jp E-mail: press@kanazawa21.jp



見どころ

舞台作品としてまったく新しく生まれ変わった『珈琲時光』

家族、距離、歴史などを主題とし、日本と台湾にとって特徴的な異なる5つの時代の短編が、とあるアパートの5つの部屋に断片的に並び、交わるはずのない人たちが言葉や歴史、時代を超えて緩やかにつながります。

**日台国際共同プロジェクトのフィナーレを金沢で**

三重県津市を拠点とする第七劇場の鳴海康平、台湾の台北を拠点とするShakespeare's Wild Sisters Groupの王嘉明の日台混成チームによる共同製作・演出。舞台『珈琲時光』は先頃台湾で初演され、8ステージで1,500人ほどを動員するなど、大好評を博しました。

**石川県野々市市生まれ・在住の西本浩明さんが出演**

金沢は八田與一の業績から台湾と強いつながりを持ちます。この金沢と台湾の関係を踏まえ、2018年5月に石川県に縁のある表現者を対象に、舞台『珈琲時光』に出演するメインキャストのオーディションを行い、石川県野々市市生まれ・在住で、現所在地で俳優活動を続けている西本浩明さんが採用され、メインキャストの一人として出演します。

西本浩明

1978年 石川県野々市市生まれ。俳優・音声言語指導者・演出家・脚本家。
2000年より俳優活動を開始。2016年、演芸列車「東西本線」を結成。「誰もが楽しく・納得できる作品」をモットーに活動を続けており、演劇が持つ可能性を舞台のみならず多方面に展開している。



日台国際共同
プロジェクト
Notes Exchange

三重県津市を拠点とする第七劇場と、台湾・台北を拠点とする Shakespeare's Wild Sisters Group。国際的に活動する、この2つの現代演劇のカンパニーと三重県文化会館による、2016年から3年間にわたる国際共同プロジェクト。

1年目はドストエフスキー、2年目はジョージ・オーウェルを題材に協働作品を日本と台湾で上演。フィナーレとなる3年目のプロジェクトは製作に金沢21世紀美術館も加わり、東京、台湾、三重、金沢でのワールドツアーを実施。

日台国際共同プロジェクト Notes Exchange <https://notes-exchange.tumblr.com/>

協力：SPAC 静岡県舞台芸術センター

助成：國家文化藝術基金會、台北市文化局、雲門文化藝術基金會

製作：三重県文化会館〔指定管理者：（公財）三重県文化振興事業団〕、金沢21世紀美術館〔（公財）金沢芸術創造財団〕、合同会社第七劇場、Shakespeare's Wild Sisters Group

出演

[金沢] 西本浩明（演芸列車「東西本線」）

[台北] Fa、圈圈 Huen Sze Man Suzanne

[三重] 佐直由佳子、小菅紘史、木母千尋、菊原真結、三浦真樹

[静岡] 鈴木真理子（SPAC）

スタッフ

舞台監督：北方こだち

演出助手：盧琳 Lu Lin

照明：島田雄峰（LST）

翻訳：陳汗青 Nitta Yukio、林佳祥 Lin Jia-Xiang

音響：平岡希樹（現場サイド）

舞台写真撮影：松原豊

衣裳：靳萍萍 Chin Pin-Pin

宣伝美術：橋本純司

台湾側プロデューサー：新田幸生

関連プログラム

高校生向けワークショップ

鳴海康平、西本浩明が講師となり、舞台『珈琲時光』を題材にしながら、演劇部の高校生が抱える課題解決となるような演劇ワークショップを実施。言葉だけに頼らない身体表現や身体を使った演出法を学びます。

日時：1月12日（土）13:00～17:00

場所：金沢歌劇座 大練習室（金沢市下本多町6番丁27番地）

講師：鳴海康平（第七劇場）、西本浩明（演芸列車「東西本線」）

参加者：星稜高校演劇部20名ほど

コーヒーを片手に演劇体験！リーディング・カフェ

劇場で舞台『珈琲時光』をより一層楽しむために、上演台本を声に出して読んでみるワークショップです。演出の鳴海康平と出演俳優の西本浩明が作品解説を行います。演劇が初めての方や台湾に興味のある方にもオススメです。

日時：1月13日（日）11:00～13:00、15:00～17:00（各回120分程度）

場所：石引パブリック（石川県金沢市石引2丁目8-2 山下ビル1階）

講師：鳴海康平（第七劇場）、西本浩明（演芸列車「東西本線」）

定員：各回15名（定員に達し次第、お申込みを締め切ります）

参加費：800円（台湾の珈琲1ドリンク付き）

お申込み・お問合せ：金沢21世紀美術館 交流課 TEL 076-220-2811（10:00～18:00※月曜を除く）、石引パブリック TEL 076-256-5692

主催：金沢21世紀美術館〔（公財）金沢芸術創造財団〕

演出

鳴海康平 Narumi Kouhei

第七劇場、代表・演出家。Théâtre de Belleville、芸術監督。1979年北海道紋別市生まれ。三重県津市在住。早稲田大学在籍中の1999年に劇団を設立。「風景」によるドラマを舞台作品として構成。国境を越えることができるプロダクションをポリシーに製作し、ストーリーや言語だけに頼らないドラマ性が海外で高く評価される。ポーラ美術振興財団在外研修員（フランス・2012年）として1年間渡仏し活動。帰国後2013年に日仏協働作品『三人姉妹』を新国立劇場にて上演。



5

演出・脚本

王嘉明 Chia-Ming WANG

20年以上、先進的な演劇を製作し続け、常に伝統と革新、大衆性と前衛性を融合させた作品を発表。その作品は核心を失うことなく、広く市民に享受されており、大言壮語のない実験といえる。近年は賛否両論を起こす言語表現や演劇の音/音声のパフォーマンスの新しい可能性の探求に取り組む。限界を拡張するだけではなく、総合芸術としての演劇の定義を豊かにするために、ジャンルを越境してアーティストと協働。演劇に加えて、広告CMのアシスタントや、ミュージックビデオ、ファッションショーのディレクター、高雄ワールドゲーム2009のオープニングアクトのディレクターを務める。



6

出演劇団

Shakespeare's Wild Sisters Group (莎士比亞的妹妹們的劇團)

1995年夏に設立。「シェイクスピアの妹たち」の意である劇団名は、イギリスの作家ヴァージニア・ウルフの『自分だけの部屋 (A room of One's Own)』の登場人物が由来。独創的な美学とスタイルを模索し続け、毎年実験的な新作の発表と国内外との文化交流を行う。1997年以降、多くの国・都市に招かれ、これまでに香港、マカオ、北京、青島、釜山、東京、ベルリン、シンガポール、神戸、パリ、アヴィニョンなどで公演。

<http://www.swsg95.com.tw/>



7

第七劇場 Dainanagekijo

1999年、演出家・鳴海康平を中心に設立。主に既成戯曲を上演し、言葉の物語のみに頼らず舞台美術や俳優の身体とともに多層的に作用する空間的なドラマが評価される。国内外のフェスティバルなどに招待され、これまで国内20都市、海外4か国7都市（フランス・ドイツ・韓国・台湾）で作品を上演。2014年、東京から三重県津市美里町に拠点を移設し、倉庫を改装した新劇場 Théâtre de Bellevilleのレジデントカンパニーとなる。

<http://dainanagekijo.org>



8

広報用画像

画像1~14を広報用にご提供いたします。ご希望の方は下記をお読みの上、広報室へお申し込みください。

画像お申し込みフォーム ▶ https://www.kanazawa21.jp/form/press_image/

[使用条件]

※トリミングはご遠慮ください。作品が切れたりキャプション等の文字が画像にかぶったりしないよう、レイアウトにご配慮ください。

※情報確認のため、お手数ですが校正紙を広報室へお送りください。

※アーカイブのため、後日、掲載誌(紙)、URL、番組収録のDVD、CDなどをお送りください。以上、ご理解・ご協力のほど、何とぞよろしくお願いいたします。



9, 10, 11,
東京芸術祭直轄プログラム 舞台「珈琲時光」 ©松原豊

12, 13, 14,
舞台「珈琲時光」台湾公園 ©松原豊